

2022(令和4)年3月30日

2021(令和3)年度関西保育福祉専門学校
第2回学校関係者評価委員会報告

1 第2回学校関係者評価委員会の開催について

上記委員会については、2022(令和4)年3月11日(金)15:00~17:00の開催を予定し、委員の方に2月16日付け文書で出席依頼をしていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、まん延防止等重点措置の適用が延長されることに伴い、山下委員長と協議の上委員会開催を中止し、文書による各委員からご意見聴取及び学校自己評価報告書(案)に対する学校関係者評価を実施しました。

全委員から、意見及び評価を文書により提出いただきました。まとめたものを山下委員長にお諮りし、学校関係者評価委員会のご意見及び評価といたしましたので、報告いたします。

2 委員名簿

NO	委員名	所属等
1	長部俊弘委員	社会福祉法人長陽会 ニコニコ桜保育園理事長兼園長
2	田淵勝彦委員	社会福祉法人みおつくし福祉会 救護施設淀川寮施設長
3	山下知一委員	社会福祉法人宝塚さざんか福祉会 宝塚さざんかの家所長
4	松本陽介委員	学校法人阪急学園 いるか幼稚園園長
5	板羽茂雄委員	兵庫県立尼崎高等学校 校長
6	丸山和幸委員	社会福祉法人三田谷治療教育院 芦屋翠ホーム施設長
7	橋本由香利委員	保育科1年生 保護者

3 学校自己評価報告書(案)に対する委員からのご意見

【基準1】

- 理念や目的が明確であり、学生やその保護者にも分かりやすく伝わっているように感じる。ホームページも見やすく親しみやすい。介護福祉科の募集が無くなることで保育科のみとなるが、発達障害などの療育的な保育(支援)にも、今後、力を入れていく必要があるように感じる。
- 適切と思います。
- 理念・目的・人材育成像が明確に定められ、Zoom活用などで周知方法についても、ご尽力されていると思います。
- 新たな方式として積極的にオンラインで説明会を実施するなどの対応は評価できません。加えるなら、YouTubeチャンネル等で常時、説明会等学校の案内にオンラインアクセスできるような形を検討されるとよりよいかと思います。
- 特にありません。

【基準2】

- 学校運営については、近年の新型コロナウイルスによりオンラインやICT化など業務の効率化の重要性を感じます。費用面もあり全てを一気にというわけにはいかないとはいいますが、少しずつでも進めて頂き、学生に関わる時間を多く持つことが大切に思います。
- 学校組織全体の規模が小さくなることの影響として、事務コスト比率が相対的に大

きくなりますが、いち早く教科書 Web 販売システム、証明書発行手数料キャッシュレス化、電子学生証導入等の試行をされていることは評価できます。継続して学校運営の効率化、制度の向上に努めて頂ければと思います。

- 適切と思います。
- ICT導入で教育の質向上の取組も、時代の変化に合わせている印象です。
- 業務効率化については、学校の先生方が運営・準備、全ての事に携わるのは難しいのではないかと思います、費用対効果を含めて、可能なものは委託することもいかがかと考えます。
- 業務効率化の中で、Web 販売システムの導入が素晴らしいと思います。全ての購入物を Web 購入として、翌日、授業料と共に引き落としができれば、効果的だと思います。学園も、2年前から導入しました。

【基準3】

- 大変教育活動に力を入れていると感じる。しかし、新型コロナウイルスの影響にて対面的なことが中止になることがあり残念を感じる。今後は、難しいとは思いますが、with コロナで人との触れ合いを重視した教育を切に願います。
- 適切と思います。
- 学生さん自身の目標達成状況の振り返りは大切な機会だと思います。学生さん自身では気づき難い強みが先生方からの言葉で発見・後押しされていると察します。
- 「医療的ケア」は児童にも共通するため、保育課でも有意義ではないかと思います。
- ピアノや制作の達成率が低いことから、経験の無い方でも達成できるように実践の部分より経験できるようにしていければいいと感じました。
- 保育科の新カリキュラムの中に、特別支援教育がありましたが、今後も必要となる知識の一つと現場では実感しております。強化を是非お願い致します。
- 教育内容は充実したものと思われるが、課題のとおり新型コロナ禍の影響が大きく、ことに保育現場での実習や実技が十分にできないことは、経験値として現場を知ることが大切な学修の一つと思われるので、来年度は新たな実習受け入れ先を開拓するなども含めて考えられてはいかがでしょうか。

【基準4】

- 資格取得、友人や先生との談話など学校に行く楽しさを理解できればと感じる。例えば、行事企画は大変な事ではあるが、意見交換や皆と一緒にモノを作り上げること、「楽しかった！また、やりたい！」＝「学校に行きたい！」という気持ちを大事にしてほしい。
- 大学・短大進学希望者の増加の中、安定した希望者がいることを進路担当者から聞いています。その要因として、広報及び教育内容の充実があるのではないのでしょうか。
- 10年（過去）の退学率低下は、取組効果がでており、頭が下がります。
- 就職先である施設の情報提供やOG・OB訪問等により、就職先とのアンマッチがなるべく出ないようにサポートいただけるとなお、よいと思います。
- 特にありません

【基準5】

- 学生支援についてはいろいろと取組まれているため特に意見はありません。
- コロナが理由で課外活動が減ることは仕方がないと感じますが、学生にとっては残念だと思います。
- 適切と思います。
- 奨学金等によって学ぶ機会を広げることは、とても大切である。卒業生は、今後の学

生が就職先を検討するなど、大切な役割を果たしてもらえる可能性もあり、常に研修会に限らず対話窓口を開いていることが大切だと思います。

- 学生支援のペイドインターンシップ導入後の活用状況はどのようになっているか、気になりました。
- コロナ対応が良くされていて、素晴らしいと感じます。

【基準6】

- 万一起こった時の防災対策は校内では整備されていると読み取れますが、地域住民への避難場所としてなどの協力も考えておく必要もあると思います。
- 適切だと思います。
- 建物の老朽化については致し方ないが、防災に関する点検は欠かさず、また可能性のある様々な災害を想定しておくべきかと考えます。
- 特にありません。

【基準7】

- 学生募集や受け入れは少子化の中でできる限り、様々な取組に努力されていると感じます。
- 大学・短大進学希望者の増加の中、安定した希望者がいることを進路担当者から聞いています。その要因として、広報及び教育内容の充実があるのではないのでしょうか。
- 幼稚園協会としても、中学生へのアプローチが大切と漢字、幼稚園教員の魅力を発信するためのパンフレットを製作中です。中学生へのPRは大事だと思います。
- 就職先である保育園や幼稚園に協力いただいて、確実な就職先が確保できていることをアピールしたり、楽しい社会人生活のイメージができればよりよいかと思います。

【基準8・9・10】

- 特に、意見はありませんが、学園祭などコロナによって、ふれあいの場が中止になることは残念に感じます。
- 財務、ガバナンスは特に問題はないかと思います。地域貢献は新型コロナ禍の影響が大きく致し方ない面もあったと思います。
- 特にありません。

4 学校自己評価報告書に対する学校関係者評価委員会からの評価

(1) 評価・・・適切である。

(2) ご意見

- コロナ禍でも様々な取組に、今できる努力を感じる。
- コロナ禍において、種々の工夫をされていることは頭が下がる思いです。本校においても改善を進めたいと思いますが、なかなか進んでいない現状があります。
- これまでの課題にしっかりとコミットし改善を図っている。
- 各基準委に対する学校側の各評価は極めて適切であると思われる。